

## 「固有 ID」によるドメイン認証

固有 ID（英数文字列）は、申請頂いた証明書毎に、米国認証局アルゴリズムが自動生成し、別途 「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールにてご連絡致します。

（注）マルチドメイン証明書では収容されるすべてドメインに対しては **1**つの「固有 ID」を共有します。

### 【必ず、お読みください！】

1. 2021年12月以降、「Web page 認証」を選択された場合、コモンネームドメインに **www** を加えたり、あるいは削除した上で付帯ドメインを無償追加するサービス（ワイルドカード証明書は対象外）の利用はできなくなりました。

例えば、coolexample.com を コモンネーム として申請し、「Web page 認証」によりドメインのコントロールを検証する場合、発行された証明書は **www.coolexample.com** を付帯ドメインとして無償追加できません。

**www** を 加えたり、あるいは削除した上で付帯ドメインを無償追加されたい場合は、ドメイン認証時、「方策1：DNS 認証」 あるいは「メール認証」を選択してください。

詳しくは、[https://arps.indigo.co.jp/support/faq3/#faq3\\_12](https://arps.indigo.co.jp/support/faq3/#faq3_12) をご参照ください。

2. 固有 ID を施した DNS/TXT レコードや、認証用 Web page は、証明書発行後 削除頂いて結構です。

## 【方策 1 : DNS レコード認証】

・「ベースドメイン (ネイキッドドメイン とも呼びます) 」の **DNS** 設定に「**TXT** レコード」を “追加” 頂くことでドメイン利用権限の認証を行います。(現状に影響及ぼさぬ様、**DNS** 設定ご担当部署・業者に作業頂くことを、強くお勧めします。)

- ベースドメインとは、(独自ドメイン) + **TOP LEVEL DOMAIN** で構成され、**TOP LEVEL DOMAIN** とは、**.co.jp** や **.com** 等含め、全世界の認証局が公認している以下リスト (**Mozilla** 社発行) に記載されている必要があります。

[https://publicsuffix.org/list/public\\_suffix\\_list.dat](https://publicsuffix.org/list/public_suffix_list.dat)

(市町村等の **TOP LEVEL DOMAIN** にはご注意ください。)

- 例えば、証明書の共通ネームが、[www.xyz.example.com](http://www.xyz.example.com) ある場合には、**example.com** がベースドメインとなります。

- **必ず、対象ドメインの「名前解決」に利用している DNS 上で設定してください。(特に、ドメインとサーバの管理業者が異なる場合ご注意ください。)**

・この方法は、「Domain Zone Control」と呼ばれ、証明書申請者が申請ドメインの「利用権限」を有していることの証として、申請ドメインを構成する「ベースドメイン」の DNS 上で「TXT レコード」として、米国認証局が申請毎に指定する「固有 ID」を追加登録頂くことで、検証いたします。

・DNSに「TXTレコード」として固有IDの設定が完了されましたら、「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールの最下段に貼付されているリンク先で、正しく設定されたかどうかの検証（「**今すぐ確認**」ボタンをクリック）を実施してください。

※ 当該リンク先の表示言語（英語->日本語）の変更方法は、本ガイド末尾をご覧ください。

## ドメインオーナーシップの検証（HTMLまたはDNS）

### DNSレコード

DNSレコードの変更を行ってドメイン制御権を証明した場合、下のボタンをクリックすると、その変更が検証されます。

今すぐ確認



DNSレコードの変更に関するヘルプは、こちらをクリック：  
[https://www.secureserver.net/help/article/7452?roq\\_id=504762](https://www.secureserver.net/help/article/7452?roq_id=504762)

### HTMLページ

HTMLページの変更を行ってドメイン制御権を証明した場合、下のボタンをクリックすると、その変更が検証されます。

今すぐ確認

HTMLページの変更に関するヘルプは、こちらをクリック：  
[https://www.secureserver.net/help/article/7452?roq\\_id=504762](https://www.secureserver.net/help/article/7452?roq_id=504762)

（捕捉） DNS設定内容については、Web検索でヒットする各種TXT record lookup ツールにて、お客様ご自身で容易に確認頂けます。例えば、  
<https://toolbox.googleapps.com/apps/dig/#TXT/>

Google Admin Toolbox Dig

名前  
jcert.jp

A AAAA ANY CAA CNAME MX NS PTR SOA SRV **TXT**

TXT  
TTL: 1 minute 9 seconds  
**VALUE: 57h8m8ancncng80964ttvfc30hj**

## 【方策 2 : Web page (HTML ページ) 認証】

- ・ **ワイルドカード証明書にはこの代替策はご利用頂けません。**
- ・ **Webpage (HTML ページ)** によるドメイン利用権限の認証を行います。
- ・ この方法は、「Webpage Control Validation」と呼ばれ、証明書申請者が申請ドメインの「利用権限」を有していることの証として、当該申請ドメインの配下に以下のディレクトリで構成した URL に **認証ファイル** を新規作成頂くことで検証いたします (当該 URL は「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールにてご案内しますので、そちらをご活用下さい) :

- URL は、**http or https** いずれでも **OK** です。 (ただし、**https** での設定は、更新時に限ります。)

<http://申請 FQDN/.well-known/pki-validation/starfield.html>

<https://申請 FQDN/.well-known/pki-validation/starfield.html>

- さらに、当該ページは白紙ではなく、証明書毎に割り当てられた「固有 ID」を **html** にて記載してください。 (以下挿絵はサンプル HTML ページとなりますので、ご参照ください。)



(サンプル HTML ページ↑ では、「固有 ID」は、**96qv6gv97bp04s73gqp2iuof86** が**見本**として設定されていますが、実際

には、ご注文完了後、米国認証局アルゴリズムが自動生成する「固有 ID」をメールでご連絡します。)

- **リダイレクト先に認証ファイルを置かず、当該 URL 直下に設定してください。**

・最後に、Webpage (HTML ページ) に認証ファイル (固有 ID を明示した) の設定が完了されましたら、「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールの最下段に貼付されているリンク先で、正しく設定されたかどうかの検証 (「**今すぐ確認**」ボタンをクリック) を実施してください。

※ 当該リンク先の表示言語 (英語->日本語) の変更方法は、本ガイド末尾をご覧ください。

## ドメインオーナーシップの検証 (HTMLまたはDNS)

<b>DNSレコード</b> DNSレコードの変更を行ってドメイン制御権を証明した場合、下のボタンをクリックすると、その変更が検証されます。 <input type="button" value="今すぐ確認"/> DNSレコードの変更に関するヘルプは、こちらをクリック: <a href="https://www.secureserver.net/help/article/7452?prog_id=504762">https://www.secureserver.net/help/article/7452?prog_id=504762</a>	<b>HTMLページ</b> HTMLページの変更を行ってドメイン制御権を証明した場合、下のボタンをクリックすると、その変更が検証されます。 <input type="button" value="今すぐ確認"/> ← HTMLページの変更に関するヘルプは、こちらをクリック: <a href="https://www.secureserver.net/help/article/7452?prog_id=504762">https://www.secureserver.net/help/article/7452?prog_id=504762</a>
--	--

## 【ドメイン所有権検証完了画面】

方策 1 or 2 により、次の画面に遷移すれば、ドメイン所有権の検証は完了です。

## ドメインオーナーシップの検証 (HTMLまたはDNS)

ドメイン所有権の検証 (HTMLまたはDNS) を完了しました  
ドメインの所有権を証明できました。

(捕捉) なお、上記お客様自身による設定検証結果、以下の挿絵のような「有効期限切れ・無効」なる旨メッセージが表示されることがありますが、これは、米国認証局側でも 1 日に数回バッチ処理により設定検証を実施しており、

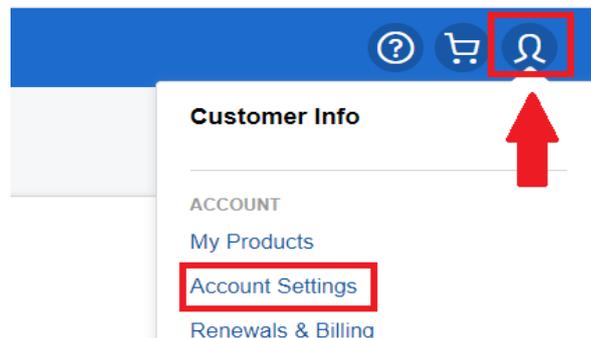
そちらが先にヒット（検証済）したことを示すものであり、何ら問題はありません。

## ドメインオーナーシップの検証（HTMLまたはDNS）

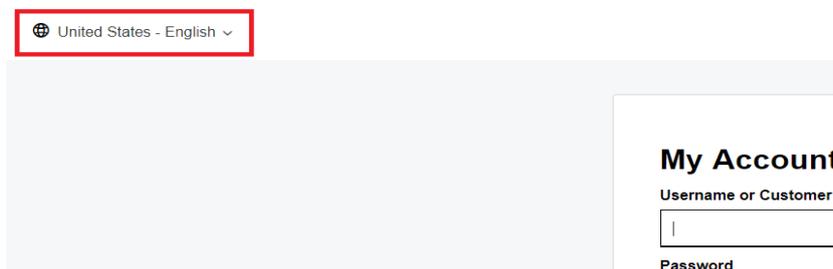
ドメイン制御用の固有トークンが有効期限切れまたは無効です。本要求のための新しいトークンが記載されている直

※ リンク先の固有 **ID** 設定検証ページの表示言語（英語->日本語）を変更するには？

1. リンク先ページ右肩上の“人”アイコンをクリックし、更に「**Account Settings**」を選択



2. 遷移ページの“ログイン”コーナーは無視し、左肩上の言語選択をクリック



3. 日本語を選択してください。

## Choose your Country/Region

<b>Argentina</b> - Español	<b>Hong Kong</b> - English	<b>Perù</b> - Español	<a href="#">United States</a> - English®
<b>Australia</b> - English	<b>India</b> - English	<b>Philippines</b> - English	<b>Venezuela</b> - Español
<b>België</b> - Nederlands	<b>Indonesia</b> - Bahasa Indonesia	<b>Polska</b> - Polski	<b>Việt Nam</b> - Tiếng Việt
<b>Belgique</b> - Français	<b>Ireland</b> - English	<b>Portugal</b> - Português	Ελλάδα - Ελληνικά
<b>Brasil</b> - Português	<b>Israel</b> - English	<b>Schweiz</b> - Deutsch	Россия - Русский
<b>Canada</b> - English	<b>Italia</b> - Italiano	<b>Singapore</b> - English	Україна - Українська
<b>Canada</b> - Français	<b>Malaysia</b> - English	<b>South Africa</b> - English	الإمارات العربية المتحدة - اللغة العربية
<b>Chile</b> - Español	<b>México</b> - Español	<b>Suisse</b> - Français	ไทย - ไทย
<b>Colombia</b> - Español	<b>Nederland</b> - Nederlands	<b>Suomi</b> - Suomi	대한민국 - 한국어
<b>Danmark</b> - Dansk	<b>New Zealand</b> - English	<b>Sverige</b> - Svenska	台灣 - 繁體中文
<b>Deutschland</b> - Deutsch	<b>Norge</b> - Bokmål	<b>Svizzera</b> - Italiano	<b>新加坡</b> - 简体中文
<b>España</b> - Español	<b>Österreich</b> - Deutsch	<b>Türkiye</b> - Türkçe	<b>日本</b> - 日本語
<b>Estados Unidos</b> - Español	<b>Pakistan</b> - English	<b>United Arab Emirates</b> - English	香港 - 繁體中文
<b>France</b> - Français		<b>United Kingdom</b> - English	